

福岡会場のポスター発表者リスト（太字・下線あり、は口頭発表も）

	氏名 <small>*連名・組織の場合は代表者</small>	ご所属（必須ではない）	ポスター発表タイトル	コア タイム
F01	岡 登志雄	京都芸術大学	17世紀肥前磁器の花唐草の変化とその意味	出
F02	遠藤 啓介	九州歴史資料館	高取焼に見る「きれい」とは何か	出
F03	山本 文子	佐賀県文化課	古伊万里の文様って面白い！（仮題）	出
F04	酒井田 千明	九州国立博物館	学芸員の陶磁研究の醍醐味－研究と展示の繋がりと展開	出
F05	高木 大輔	出光美術館	学芸員のお仕事 ―クーリエ編：北京故宮博物院「茶の世界」展	出
F06	渡辺 芳郎	鹿児島大学法文学部	明治末鹿児島窯業の一断面－鹿児島県指宿市山川鰻窯跡の調査成果から－	出
F07	松下 久子	宮崎大学	研究にムダはない ～他分野での調査研究が活かされた漆装飾磁器に関する研究～	不参加
F08	船井 向洋	伊万里市教育委員会	日峯社下窯跡と初期鍋島は面白い	出
F09	巖 由季子	佐賀県立九州陶磁文化館	陶磁器の「修理」を考える（仮題）	出
F10	村上 伸之	有田町歴史民俗資料館	そうだったんだ！日本磁器のはじまり丸わかり！！	不参加
F11	赤松 和佳	大手前大学史学研究所	海揚がり陶磁器を研究してみた	出
F12	中野 雄二	波佐見市教育委員会	波佐見の巨大窯	出
F13	家田 淳一	佐賀県立名護屋城博物館	面白エピソード～肥前吉田山、祇園幽軒遺跡の初期色絵と鄭家(仮題)	出
F14	深港 恭子	鹿児島県歴史・美術センター黎明館	モノと史料が繋がる醍醐味（仮題）	保留
F15	東中川 忠美	元佐賀県立名護屋城博物館	古武雄（こだけお）研究のいま（仮題）	出
F16	寺内 信二	李荘窯業所	一流のこだわりのある、シェフが求める究極の食器	不参加
F17	森 達也	沖縄県立芸術大学	香炉の器形の由来を知っていますか？	不参加
F18	尾野 善裕・平尾 政幸	京都国立博物館	五十嵐次左衛門の足跡－美濃・唐津・高取技術交流論－	不参加
F19	中山 圭	天草市観光文化課文化課世界遺産・キリシタン資料館係	ここがおもしろい！天草の高浜窯	不参加
F20	内田 昌太郎	筑波大学大学院人間総合科学研究科博士後期課程	瀬戸窯から唐物需要を伺う	出
F21	深海 宗佑	深海商店	呉須（ごす）を通じてアップデートされた有田焼の魅力を伝える	出
F22	庄村 久喜	晩香窯・日本工芸会正会員	磁器の深層美：石から粘土への変容とロクロの旋律が生み出す美の表現	出
F23	野上 健紀	長崎大学	陶磁考古学のススメ	出
F24	伊藤 嘉章	愛知県陶磁美術館・町田市立博物館	博物館楽派へのご招待－広がる・伝える 陶磁研究－	出
F25	降矢 哲男	京都国立博物館	展覧会紹介 特集展示「茶の湯の道具 茶碗」	不参加
F26	関 明恵・百枝 勇一	鹿児島県立埋蔵文化財センター・ (公財)鹿児島県文化振興財団埋蔵文化財調査センター	捨てられそうになった「たんつぼ」が、まさかの大発見！	不参加

こちらのポスターは福岡会場【九州歴史資料館】に掲示します。お間違いないようお願いします。

なお、福岡会場では昼食を購入することができませんので、ご持参ください。食事を摂るスペースはございます。